

第70回カンヌ映画祭審査員特別グランプリ作品「120 battements par minute」フランスで公開

今年5月に開かれた、第70回カンヌ国際映画祭（Festival de Cannes）で、審査員特別グランプリ（Grand prix du jury）を受賞した、ロバン・カンピヨ（Robin Campillo）監督の作品「120 battements par minute」が本日23日（水）より、フランス国内で公開されます。

カンピヨ監督は、同性愛と不法移民をテーマにした「イースタン・ボーイズ」（2013年）や、難しい家庭環境を抱える生徒が多数在籍する学校をモデルにした「パリ20区、僕たちのクラス」（原題：Entre les murs、2008年）、死者が戻ってくるというテーマを静かで重いタッチで描いた「奇跡の朝」（原題：Les Revenants、2004年）などで高い評価を受けています。

「120 battements par minute」は、1990年代のはじめにパリで起こった、「ACT UP（the AIDS Coalition to Unleash Power）」と呼ばれる、エイズの感染者や同性愛者などに対する差別や、理不尽な扱いに対して抗議をし、製薬会社や政府へ改革を挑んだ実在団体の活動を、実際に同団体のメンバーであったカンピヨ監督の経験をもとに描かれています。

執筆：Daisuke

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

